

ほんまかいな!

～ナゾヒきはカウンター～のなまき～

毎日、たくさんの本が返却される図書館には、「ほんまかいな!」と思うような状態で返却される本があります。そのなかにはミステリー小説よりも不思議な謎が残されて…。今回はそのほんの一部をご紹介します。

<p>ほんとうに怖いのは水!</p>  <p>返却した本が貸出前より分厚くなったような…。「倍返し!?!」</p> <p>★本は濡れると膨張します。またページがぐっつくくと貸出できなくなってしまうので、水気にはくれぐれも気をつけてください。</p>	<p>ん? このシミと匂い コーヒー しょうゆ 芳香剤?</p>  <p>とあるミステリー小説に付いた芳香剤の香りとシミ。一体どういう経緯で付いたのか…。本の内容よりも匂いが気になります。</p> <p>★本についたシミや匂いはずっと残ります。いつまでもきれいな状態で読みたいですね。</p>	<p>まだ知りたくなかったのに! 四隅に書かれた ネタばらし</p>  <p>「じえじえー!」 推理しながら読むのを楽しみにしていたのに登場人物 相関図にご丁寧に書き込みが!!</p> <p>★本に書き込みは絶対しないでください。特に問題集に答えを書くなんて論外です。</p>
<p>かみの毛と虫 はさまっただけで ホラー本</p>  <p>返却された本には時々、いろいろなものはさまっています。しおりや写真、そして時には髪の毛や虫も…。</p> <p>★汚れの原因になりますので、資料にしおり以外のものはさむのはご遠慮ください。</p>	<p>いいね、これ!」 「い」 いね、これ!」 「い」 思わず本にかみついた!</p>  <p>本にくっつきついた歯型。お腹が空いていたのか? おもちやだと思っただのか? 犬のみぞ知る。</p> <p>★本はペットの手の届かない所に置くように気をつけましょう。</p>	<p>なに者だ!? 切り取り すり替え 持ち出したのは!</p>  <p>持っていかれた本の行方が心配です。誰が何のために!?</p> <p>「返すなら…今でしょ!」</p> <p>★図書館の本はたくさんの方が利用します。ひとりじめはいけません。</p>


本を汚損・破損してしまった際は、そのままの状態でご返却ください。職員が補修します。ただし、状態が悪い場合は弁償していただくことがあります。図書館の資料は多くの方が利用します。皆が気持ちよく利用できるように、大切に扱うよう心がけましょう。

としよかん特製! 福袋

平成26年お正月を 楽しみにしてね!

北杜市図書館では、新年に新しい本の世界を広げてもらいたいとの思いから、年初めに色々なテーマの福袋を用意しています。

福袋には、図書館司書がそれぞれのテーマに合わせて選んだおススメの本が入っています。どんな本が入っているかは借りてからの楽しみ! もちろん無料です!



平成25年のお正月にはこんな福袋が登場しました!

- ・「ようこそ!初めての絵本の世界に」袋
- ・「箱根駅伝!あの感動をもう一度」袋

※福袋についての詳細は各館のポスター・ホームページ等でご確認ください。

図書寄贈のお願い

北杜市図書館では、限られた予算のなかで図書を購入しています。予約が多数入る人気本などを早く皆さんに読んでいただけるよう、下記の図書の寄贈をお待ちしています。

- 『野心のすすめ』 林 真理子
- 『心』 姜 尚中
- 『政と源』 三浦 しをん
- 『ホテルローヤル』 桜木 紫乃
- 『祈りの幕が下りる時』 東野 圭吾
- 『犬から聞いた素敵な話』 山口 花
- 『ロスジェネの逆襲』 池井戸 潤
- 『海賊と呼ばれた男 上・下』 百田 尚樹 など

※寄贈本は各図書館で受け入れします。所蔵は北杜市図書館に一任させていただきます。
※汚れがあったりや破れている場合は、受け入れをお断りする場合があります。

編集後記 ここ数年方言ブームが広がっており、11月に五緒川さんを講師に迎えて行われた方言教室も大盛況でした。北杜市図書館には、国語学者・金田一春彦先生や平山輝男先生から寄贈された貴重な方言の資料を所蔵しています。今後はこれらの資料をさらに利用してもらえるようにしていきたいです。(ま)



やまね便り

第48号

特集 2013年 今年の一冊

あの人に会いたい

『キャン・ユー・スピーク 甲州弁?②』 著者 五緒川津平太さん

ごっちょがわ つっぺえた



とびだせ! 図書館ボランティア ~第3回 大人のための朗読会「やまびこ」~

司書のつぶやき「ほんまかいな!」

としよかん特製! 福袋

2013年 今年の一冊

今年の出版界を賑わした話題の本を集めました!

長生き、健康、健康食... やっぱり健康になりた〜い!

『医者に殺されない47の心得』
近藤 誠/著 アスコム
近藤誠さんの著書はどれも人気がありました。特に人気があったのはこの本でした。
その他、
『大往生したけりゃ医療とかかわるな』
中村 仁一/著 幻冬舎
『長生きしたけりゃ、
医者の言いなりになるな』
高田 明和/著 朝日新聞出版
『なぜ「これ」は健康にいいの?』
小林 弘幸/著 サンマーク出版
『長生きしたけりゃ肉は食べるな』
若杉 友子/著 幻冬舎

本気でやると 痩せると話題に!

『実はスゴイ! 大人のラジオ体操』
中村 格子/著 講談社
『鎌田式 健康ごはん』
鎌田 実/著 マガジンハウス
長生きを目指す方必見!
長寿日本一の長野県から
『からだがよるこぶ エノキ氷健康レシピ』
江口 文陽/監修 メディアファクトリー

“JAMSTEC”じゃむすてつくと読めたらきみも深海通!

JAMSTECとは海洋研究開発機構のこと。世界に誇る有人潜水調査船“しんかい6500”を駆使して学術調査を行っています。2013年初頭にNHKスペシャルにおいて世界初のダイオウイカの映像が放送されるやいなや深海ブーム 炸〜!!
早速NHKスペシャル深海プロジェクト監修の『ダイオウイカと深海の生物』が出版されました。なんとこの本はダイオウイカのシールとポスター付きで、もはやダイオウイカはアイドル級の存在になってきました。その他にも続々と深海関連本が出版!
『ぼくは「しんかい6500」のパイロット』 吉梅 剛/著 こぶし書房
『微生物ハンター、深海に行く』 高井 研/著 イースト・プレス

経済上向き?

株価が上がると経済・投資関係の出版物がとたんに増えます。今年のキーワード“アベノミクス”そして“リフレ”こんな本がよく読まれていました。
『アベノミクスで日本経済大躍進がやってくる』
高橋 洋一/著 講談社
『アメリカは日本経済の復活を知っている』
浜田 宏一/著 講談社

社員食堂の... ○○社員の... ○○栄養大学の...

健康・食品に関わる人ならではのうんちくで、読むだけでもおもしろい。ほかに多数のレシピ本が出ました。
『カルビス社員のとっておきレシピ』
カルビス株式会社/監修 池田書店
『ブルドックソースレシピ帖』
ブルちゃん愛好会/著 新潮社
『世界をつなぐあこがれ企業の社員食堂レシピ』
TABLE FOR TWO/編著 東洋経済新報社
『女子栄養大学のカフェテリア』
小笠原 章子/著 幻冬舎エデュケーション

「言い方」「話し方」「答え方」... 本がよく読まれています!

自分の言葉に自信を持ちたい、もっとうまく他人とのコミュニケーションをとりたいと考える人が多いのでしょうか? ビジネス書部門でよく読まれました。
『できる大人のモノの言い方・話し方』
杉山美奈子/著 高橋書店
『仕事に必要なのは「話し方」より「答え方」』
鈴木鋭智/著 中経出版
『雑談力が上がる話し方』
齋藤孝/著 ダイヤモンド社

あの人に 会いたい

出版の経緯について
雑誌『月刊マイタウン』に連載していた『甲州弁でGO!』がきっかけですが、その一方で、高校を卒業して大学生となり東京生活を始めてからの体験も大きく関わっています。自分が甲州弁だとは気づかず通じると思っていた言葉が理解してもらえず、恥をかいたことが幾度かありました。そんな度重なる苦しい思いから、いつか標準語に逆襲してやろうという気持ちを抱くようになり、それが一巻の出版につながりました。

最後に読者に一言
前作『キャン・ユー・スピーク甲州弁?』を買った人は必ず②を買おうというシリーズです。甲州弁でこんなことが出来るか試していますが、今まで本に書いてきた以外にもまだまだあると思うんです。それが溜まってくれば三巻の出版にもなるんじゃないか? (笑)
方言はしゃべり言葉なので、是非みなさんも声に出して甲州弁を使ってみるし!

『キャン・ユー・スピーク甲州弁?②』も大好評、ごっちょがわ つっぺえた 五緒川津平太さん

ずばり『キャン・ユー・スピーク甲州弁?②』のよみどころは?
「お詫び」からはじまる本というの。世界初(笑)ではないでしようか。一巻で『持ちに行く』を取り上げたことで「持ちに行く」から「取りに行く」と言うようになった人が多くなってしまっています。それをお詫びしたく、今回は「お詫び」から書かせて頂きました。(本気でそう思っているわけでもないのですが...) 基本的に一巻と同じなのですが、スのものも入っています。一巻を出版した後、あの言葉が載っていない、この言葉が載っていないと周りから言われたので、そこを今回は考慮しました。



ペンネームの由来は?
『甲州弁でGO!』に登場させたキャラクターの名前が「五緒川津平太」なんです。そしてその名前をペンネームとして使い、キャラクターも本に登場させました。
五緒川津平太(本名 大堀卓)
1958年八田村(現・南アルプス市)生まれ。都内デザイン事務所勤務を経て帰郷後、山梨の地域情報誌『月刊マイタウン』制作に携わる。2009年『キャン・ユー・スピーク甲州弁?』を出版。

どしどし! どしどし! 朗読会「やまびこ」



北杜市内で図書館ボランティアとして活動している朗読グループが集まり、交流を通じ技術向上を図ろうと、平成21年10月から、たかね図書館にて毎月第3金曜日に、大人のための朗読会「やまびこ」を開催しています。各グループ交替制で、作品選び、演出、会場の飾り付けなどに趣向を凝らし、朗読会を行っています。

日頃の練習を積み重ねた各グループの発表は、登場人物にあわせて声の大きさ・抑揚・間のとり方など工夫されていて、聞いている方たちを惹きつけます。自分で読むのとはまた違った情景等が思い浮かび、朗読会ならではの楽しみを味わうことができます。ぜひ、気軽な気持ちで足をお運びください。
「やまびこ」参加グループは、要望があれば、福祉施設・老人会・公民館行事などに出張朗読いたします。

「やまびこ」所属グループ 総出演!



[ご案内]
大人のための朗読会「やまびこ」50回記念
日時: 12月20日(金)午後1時30分~4時
会場: 高根ふれあい交流ホール 入場無料(申込不要)
問い合わせ先: たかね図書館 TEL/FAX 0551-47-4784